



令和 7 年 6 月 9 日  
市長政策・市民協働課

## 五千円札の津田梅子のコンテ画(複製)受贈 に伴う贈呈式を行います

五千円札印刷のために作成した津田梅子のコンテ画(複製)を、独立行政法人国立印刷局から阿賀野市が受贈することに伴い、次のとおり贈呈式を行います。

- 1 日 時 令和 7 年 6 月 23 日(月) 午後 2 時～(概ね15分の予定)
- 2 場 所 阿賀野市役所 2 階 会議室(阿賀野市岡山町10番15号)
- 3 贈呈者 独立行政法人 国立印刷局 理事長 大津俊哉 様
- 4 受贈品 五千円札印刷のために作成した津田梅子のコンテ画(複製) 縦52cm×横43cm



- 5 経 緯 津田梅子は、1900年(明治33年)に津田塾大学の前身である女子英学塾を設立し塾長に就任しました。その後、1923年(大正12年)の関東大震災で、麴町の校舎が全焼しましたが、再建に向けて、サンフランシスコ在住で阿賀野市出身の安孫子久太郎夫妻(妻、安孫子余奈子は津田梅子の実妹)の募金活動による協力がありました。津田梅子は、1929年(昭和 4 年) 8 月 16 日に死去されましたが、次の塾長の星野あいが、募金活動によって集まった資金により、1931年(昭和 6 年)に小平キャンパスの建設と塾の復興を果たしました。塾は、1933年(昭和 8 年)に津田梅子を記念して津田英語塾に改名し、以後、太平洋戦争の戦禍を乗り越え、戦後の学生改革を経て津田塾大学となって、津田梅子の女子教育への意思を継承しています。

このような経緯から、安孫子久太郎夫妻の功績が認められ、久太郎の出身地の当市にコンテ画が贈呈されるものです。

※ 参考に、広報あがの(令和 6 年10月号)に掲載しました、安孫子久太郎に関する記事を添付しました。



阿賀野市イメージキャラクター  
「ごずっちょ」

### 【問い合わせ】

担当：市長政策・市民協働課 斎藤

電話：0250-62-2510 (内線2214)

mail：shichoseisaku@city.agano.niigata.jp